

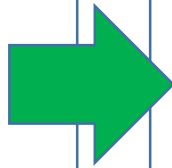
五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略2020改訂(案)の概要

～新型コロナウイルス感染症の影響による見直し～

令和2年度からスタートした「五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略2020」(R2～R6)について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国の総合戦略改訂も考慮し、今後の政策の方向性を示す。

●感染症による様々な影響

- ・地域経済・生活への影響
- ・地域経済を支える産業への影響
- ・雇用情勢への影響
- ・観光等の交流人口の減少等
- ・個人の意識・行動変容
- ・テレワーク、web会議の普及
- ・地方への移住の関心の高まり 等



○新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地方創生の今後の方向性

〔国のまち・ひと・しごと創生総合戦略改訂〕

地域の経済・社会を活性化させ地方創生を実現するため、これまでの取組みを着実に行うことに加え、次に掲げる方向性に則り、基本目標に従って地方創生を進めていくことが重要

①感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・しごとの流れの創出

感染症を契機とした地方移住への関心の高まりを地方への大きなひと・しごとの流れにつなげていくため、地域の魅力を高め、人を惹きつける地域づくりや魅力を発信

②各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

地域の将来を「我が事」としてとらえ、特色や状況を十分に把握し、隣接する地域との連携を図りつつ、各地域が自主的・主体的に取り組む。



○新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた五木村総合戦略の見直し

村の経済・社会を活性化させ、国の改訂に沿った地方創生を実現するため、新型コロナウイルス感染症の影響から早期に回復することを目標としつつも、「新しい生活様式」への対応などにより、取組みの方向性が変わったものについては目標の見直しを行うこととする。併せて、「新しい生活様式」にあわせ、より積極的に取り組むべき目標については上方修正を行う。

☆見直し内容・・・新型コロナウイルス感染症の影響による「新しい生活様式」に沿った取組みを推進し、新しい地方創生を実現する。

☆KPI等の変更・見直し (◆KPI変更,▲上方修正,▼下方修正)

項目	KPI	目標数値
○観光・交流の促進		
▼滞在型の観光・交流の促進	観光入込客数	200→168千人
◆道の駅等の観光・交流拠点の機能強化	観光情報センター来場者数 →物産館来場者数	84,000人
◆観光・交流事業の主役となる人材の育成や体制の強化	企画・誘致ツアー数 →村内宿泊者数	4,500人

項目	KPI	目標数値
○農林水産業の振興		
▼森林整備の推進等による雇用拡大と人材育成	森林整備員数	70人→63人
▼地域の特性を活かした農林水産物の生産	農林水産物出荷額	30,000千円 →21,460千円

項目	KPI	目標数値
○商工業の振興		
▲村外をターゲットとした販路開拓の強化	新規販路商談数	5件 → 10件

項目	KPI	目標数値
○定住対策の促進		
◆定住促進のための体制整備	転入者→移住者	33人
▼山村景観の保全と形成	環境保全活動数	29件 → 22件

項目	KPI	目標数値
○福祉の充実		
▼高齢者が元気で暮らすむらづくり	シルバー人材センター会員数	40人 → 34人
▼高齢者等を支援する保健・医療・福祉施策の推進	げんぞう会参加者数 脳いきいき教室参加者数	1,500人 → 1,000人 900人 → 660人

項目	KPI	目標数値
○ひとづくり		
▲村外資源の活用によるひとづくり	五木村ファンクラブの会員数	200人 → 400人

赤：変更前の項目・数値、青：変更後の項目・数値